

Mizuho Bangkok Daily Market Report

Dated of 2025/11/19

Forex

	Close	CHANGE
USD/THB	32.40	-0.05
JPY/THB	0.2083	-0.0007
USD/JPY	155.51	0.25
EUR/THB	37.51	-0.11
EUR/USD	1.1581	-0.0011
USD/CNH	7.111	0.003
SGD/THB	24.88	-0.02
AUD/THB	21.09	0.01
USD/INR	88.61	-0.03
USD Index	99.55	-0.04

Commodity

	Close	CHANGE
GOLD	4,066.5	-8
WTI (Oil)	60.74	0.83
Copper	10,719.5	-59.0

Stock

	Close	CHANGE
SET (TH)	1,270.04	-10.03
NIKKEI (JP)	48,702.98	-1620.93
DOW (US)	46,091.74	-498.50
S&P500 (US)	6,617.32	-55.09
SHCOMP (CN)	3,939.81	-32.22
DAX(GER)	23,180.53	-409.99

Bond

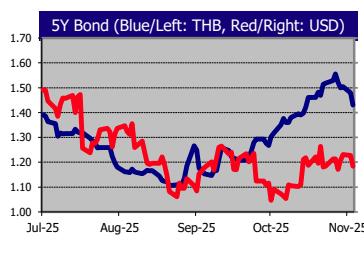
	Close	CHANGE
5Y (THB)	1.430	-0.049
10Y (THB)	1.701	-0.046
5Y (USD)	3.684	-0.044
10Y (USD)	4.113	-0.025

Fund Flow (Overseas Investors)

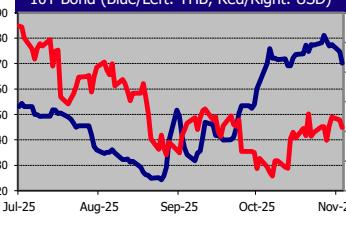
	Close	CHANGE
Stock net flow	(935)	-2638.8
Bond net flow	(2,415)	-3328.9

*compared with previous day

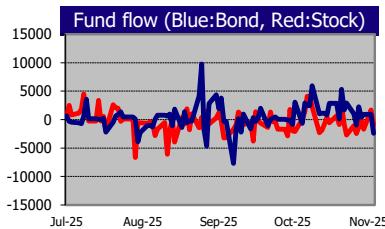
(Source: Bloomberg)



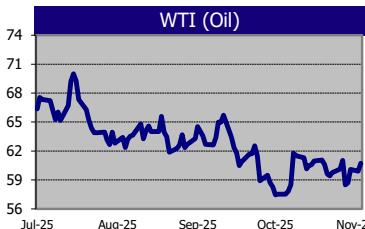
5Y Bond (Blue/Left: THB, Red/Right: USD)



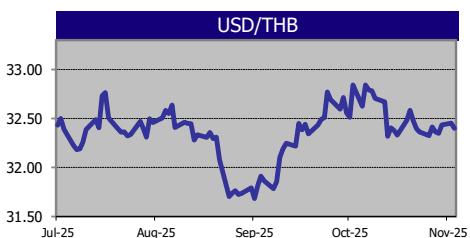
10Y Bond (Blue/Left: THB, Red/Right: USD)



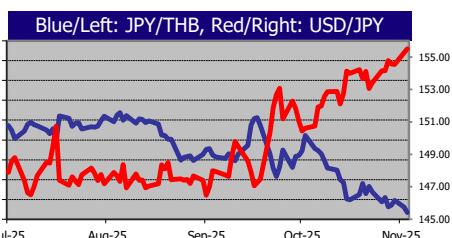
Fund flow (Blue:Bond, Red:Stock)



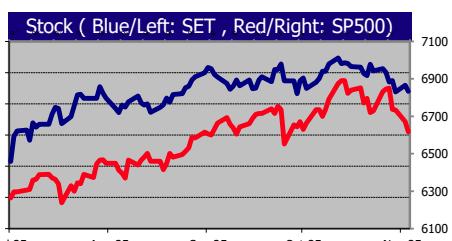
WTI (Oil)



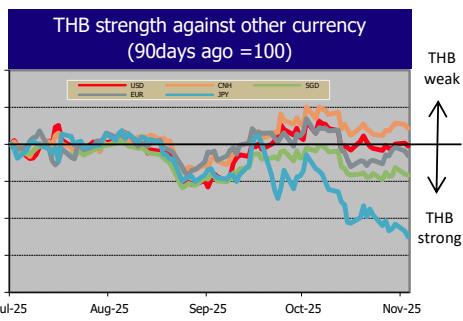
USD/THB



Blue/Left: JPY/THB, Red/Right: USD/JPY



Stock (Blue/Left: SET , Red/Right: SP500)



THB strength against other currency
(90days ago =100)

Yesterday's market summary

●ドルバーツ

昨日のドルバーツは32.40バーツ台後半で取引開始後、堅調なドルを背景に高値圏で推移するも、欧州時間に入り米政府閉鎖により発表延期されていた米新規失業保険申請件数が発表されると、32.40バーツ台前半まで下落。その後もNY時間入りにかけてドル安の流れが継続し32.30バーツ台後半まで下落。午後は低下していた米金利が上昇すると小幅に反発するも続かず、32.30バーツ台後半で取引終了。

●ドル円その他

昨日のドル円は155円台前半で取引開始。東京時間午前中は前日からの円安の流れを受けて高値で推移するも、午後は株安・ドル売りを背景としたリスクオフとなり下落。155円を下回る水準で取引された場面もあったが、結局155円丁度近辺でロンドン時間に渡った。その後、高市首相と日銀植田総裁の会談後に日銀の利上げ路線維持の方針が報じられ、加えて米新規失業保険申請件数が発表されたが、円は弱含み小幅に上昇し、155円台前半でNYオープンを迎える。低下していた米金利が上昇するとドルが買われ、155円台後半の昨日の高値を付けた後は小幅に反落し、155円台半ばで取引終了。

Bangkok Dealer's Eye

10月FOMCの記者会見でパウエル議長が「12月利下げは既定路線からほど遠い」とタカ派と捉えられるコメントを残してから、足もとではドルの過剰流動性の巻き戻しが顕著となりドル高が進行しております。米株市場では、AI関連銘柄だけでなく、資本財、銀行、消費関連など景気敏感株も軟調となり、次回12月会合での利下げ見送りによる景況感悪化も意識されています。また、先週は複数のFED高官から次回会合に向けて利下げの堅実性低下の可能性を示唆する発言も相次ぎ、次回会合での利下げ織り込みは11月初には2割程度だったものが、直近では5割を割り込む水準まで剥落しています。斯様な環境下、先週の米国政府閉鎖解除に伴い、今週以降米指標公表が順次再開され、10月3日に公表が見送られた9月米雇用統計は明日公表されることになります。次回会合、及び来年に向けた米利下げペースを占う上で米指標への注目度は当然ながら高くなる中で、足もとのFED高官発言等を受け、低下している利下げ期待に大きな変化が見られるか注目されます。再開される経済指標をこなしながら、FRBのタカ派コミュニケーションに株価が持ちこたえられるかも一つのポイントであり、株安が加速する場合、結果的にバランスシートの早期拡大決定を含む再ハト派化に傾く可能性にも注意が必要になると考えます。(福島)